

「新しい東北」官民連携推進協議会

令和元年度
岩手県意見交換会(第2回)

事務局提出資料

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局
2019年9月4日

● 目次

1. 意見交換会の概要
2. 第1回意見交換会・事後調整の結果
3. 第2回意見交換会の検討事項
4. スケジュール

＜参考資料＞

- ・ 宮城県意見交換会の検討事項
- ・ 福島県意見交換会の検討事項

本協議会では意見交換会を、復興庁と会員団体等（主に副代表団体）が活動情報を互いに共有し、地域の課題解決に向けて協議・協働を生み出す場と位置付けています。

今年度は特に、副代表団体以外の会員団体の巻き込み・議論の活性化・団体の活動につながる成果創出に注力します。

意見交換会の目的

復興庁と会員団体等（主に副代表団体）が活動情報を共有し合うとともに、地域の課題解決に向けた、多様な主体による協議・協働を生み出すこと

意見交換会の取組に対するご意見^{*1}

- ・ 民間のパワーを巻き込み、関連するものを具体的なテーマとして扱えると良い
- ・ アイディアだけでなく具体的なアクションに繋げたい
- ・ 地域でチャレンジをしている人を、各会員の持つ支援メニューを活用してサポートするスキームが必要
- ・ 地域振興に携わる方等にも関与してもらえると良い

実施上のポイント

会員団体の巻き込み
(横の連携)

議論のさらなる活性化

団体の活動につながる
成果の創出

令和元年度 意見交換会の方向性

- ✓ テーマに関する会員団体（「連携対象団体」）に意見交換会へ参加してもらい、地域課題解決に向けた議論や「実践の場」の企画に共同で取り組む。
- ✓ 参加団体^{*2}や連携対象団体の活動をより深め・広げるための活動を「実践」と定義し、意見交換会の成果として自律的・継続的な「実践」を生み出す。

● 1. 意見交換会の概要 — 過去2年間の経緯

第1回資料再掲

過去2年間の意見交換会では「関係人口」をテーマの軸に議論を展開。

今年度以降に向けては、地方創生への繋ぎや、創業支援、ソーシャルな活動に対する支援スキームの確立、沿岸部・内陸部の繋がり促進などがテーマ案として挙がっておりました。

平成29年度

関係人口の増加

第1回

- ・趣旨説明
- ・活動紹介

第2回

- ・活動紹介
- ・テーマ議論

第3回

- ・活動紹介
- ・テーマ議論

第4回

- ・活動紹介
- ・調査内容の検討

・ラグビーワールドカップ釜石開催PR
・「岩手三陸地域における関係人口の増加に向けた調査」

第5回

- ・活動紹介
- ・調査結果を議論
- ・来年度テーマの検討

平成30年度

関係人口増加から生まれる価値と、 関わりを生むためのプロセス

第1回

- ・趣旨説明
- ・活動紹介
- ・当年度のテーマの検討

第2回

- ・活動紹介
- ・テーマ議論
- ・イベント内容の検討

「関係人口×○○で考える三陸の未来」
ブースセッションとパネルディスカッション
によって、複数の切り口から、関係人口増加
の価値や関わりを生む仕掛けづくりを紹介。

第3回

- ・活動紹介
- ・イベントの振り返り
- ・来年度以降のテーマ案検討

今年度以降のテーマ案

- ・復興から地方創生への繋ぎ
(例: 創業支援)
- ・ソーシャルな活動に対する
支援スキームの確立
- ・沿岸部と内陸部の繋がり促進

● 1. 意見交換会の概要 — 今年度の進め方

第1回資料再掲

昨年度同様、全3回の意見交換会と「実践の場」を開催予定です。

テーマに関わりの深い「連携対象団体」に第2回の議論から参画いただくことで、地域でチャレンジしている人を巻き込んだ「実践の場」の企画や、「実践」の継続を目指します。

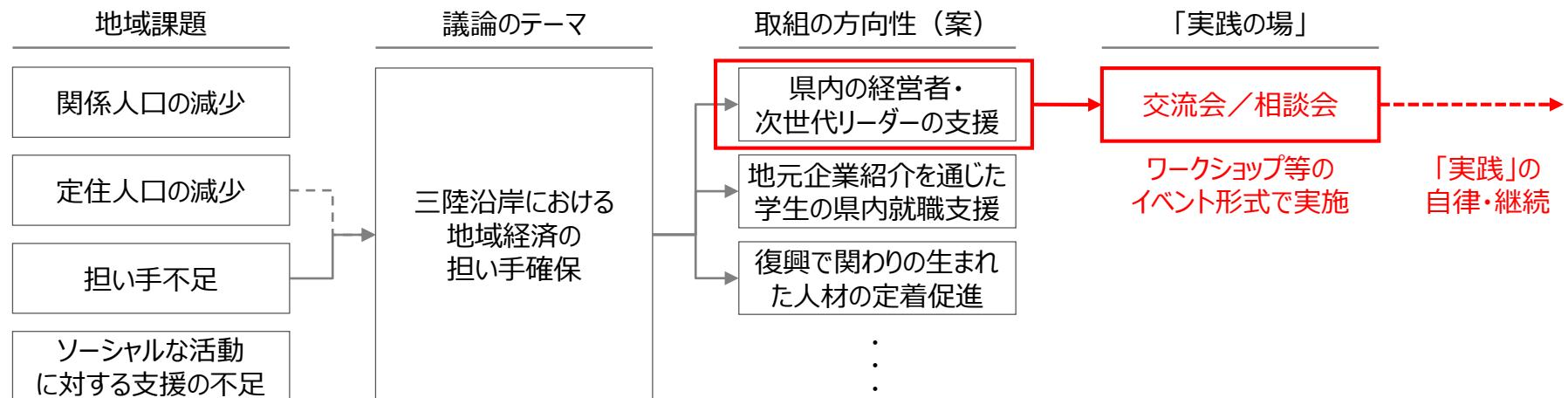
	実施事項（案）	取り組みのポイント
第1回	<ol style="list-style-type: none">意見交換会の趣旨、過去経緯（他県含む）の説明今年度の方針説明参加団体の今年度活動内容の紹介今年度テーマの検討（連携対象団体の検討含む）	<ul style="list-style-type: none">✓ テーマを決定するとともに、第2回以降から参画してもらう連携対象団体についても議論する
第2回	<ol style="list-style-type: none">参加団体の活動紹介連携対象団体によるプレゼンテーション等テーマ議論「実践の場」の内容検討（連携対象団体を企画時から巻き込む）	<ul style="list-style-type: none">✓ 連携対象団体より、現在の活動内容やテーマに対する問題意識・展望などについて共有してもらう✓ 上記を踏まえて、地域でチャレンジをしている人を巻き込んだ「実践の場」や連携の在り方を議論する
実践の場	「実践の場」の詳細設計～開催～結果整理	<ul style="list-style-type: none">✓ 会員団体の生業（活動）を深化・拡大させることや、継続的なアクションに繋げることを目的とする
第3回	<ol style="list-style-type: none">参加団体の活動紹介「実践の場」の振り返り、今後の展望の議論来年度以降のテーマ案の検討	<ul style="list-style-type: none">✓ 「実践の場」の振り返りに加え、今後の活動や体制を、自立的に継続させるための議論を行う
終了後	「実践」の継続	<ul style="list-style-type: none">✓ 意見交換会終了後も「実践」の継続を目指す

● 【参考】「実践の場」について

意見交換会の議論をもとに、地域課題解決に向けた取り組みを試行することが「実践の場」の目的です。イベント開催に係る費用等を支援いたします。

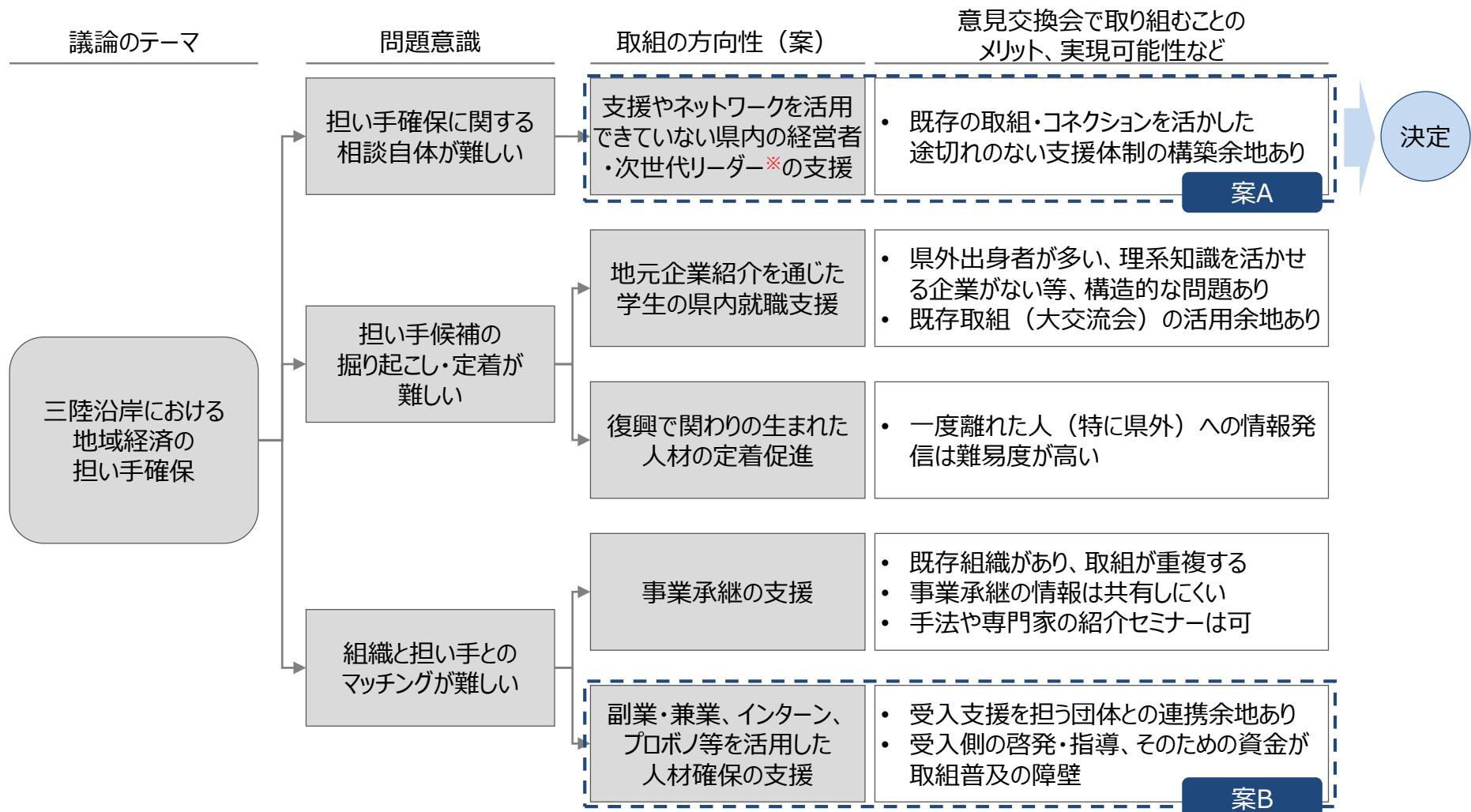
「実践の場」の概要	
目的	意見交換会の議論の中で挙がった、地域課題解決に向けた取組（解決策）を試行すること
活用できるリソース	ワークショップ等のイベント開催に係る以下については復興庁※が支援する • 開催費用（会場費、備品代、外部講師への謝金・交通費など） • 集客（協議会ポータルサイト・Facebookページなどを活用） • 司会／ファシリテーターの手配

■「実践の場」の考え方（イメージ）



● 2. 第1回意見交換会・事後調整の結果

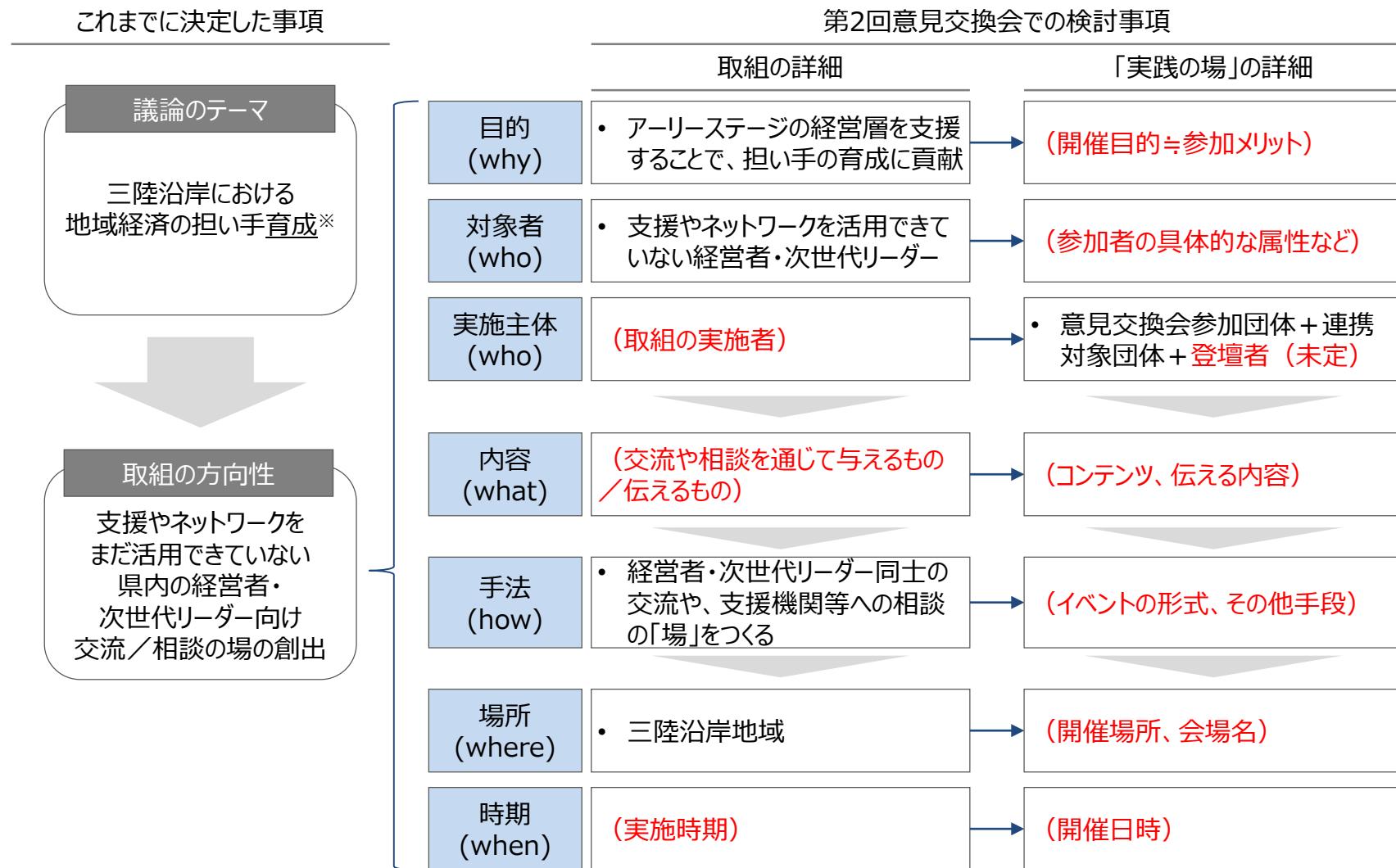
第1回意見交換会では「地域経済の担い手確保」というテーマに対して意見交換を行いました。取組の方向性は案A,Bに絞って調整した結果、連携を想起しやすく、既存取組との重複が比較的少ない案Aに決定しました。



※営利／非営利の団体問わず、経営者（承継直後の経営者・創業初期の経営者）や次世代リーダー（右腕人材・起業準備中の方）などが対象

● 3. 第2回意見交換会の検討事項

これまでに決定したテーマや取組の方向性をもとに、本日は取組や「実践の場」の詳細を検討します。



※当初は「担い手確保」という表現を用いていましたが、取組の方向性を踏まえると「担い手育成」という表現の方が適切なため変更しました

● 3. 第2回意見交換会の検討事項 一 例：経営層が抱える悩み

■ 経営者・次世代リーダーが抱える悩みの分類（支援対象者別、支援を受けられていない理由別）

		支援対象者（経営層の分類）				
		経営者		次世代リーダー		
		ベテランの経営者	承継直後の経営者	創業初期の経営者	右腕人材	起業準備中
支援を受けられていない理由	相談相手がない	✓ 他社への人材流出防止 ✓ コンプライアンス対応	✓ 承継に関わる人間関係の問題	✓ 人材確保 ✓ 組織設計	✓ 承継に関わる人間関係の問題	✓ 人材確保 ✓ 組織設計
	支援策・枠組みを知らない	✓ 新規事業立案 ✓ 販路開拓	✓ 事業計画策定 ✓ 販路開拓	✓ 事業計画策定 ✓ 販路開拓	✓ 承継準備	✓ 事業計画策定
	支援策・枠組みの対象外		✓ システム刷新	✓ 資金調達 ✓ 広報		✓ 資金調達 ✓ 広報
	支援の必要性に気づいていない	✓ 雇用・労働条件の見直し	✓ 雇用・労働条件の見直し	✓ 雇用・労働条件の見直し		✓ 自社の魅力の客観的な分析
	・					

取組内容（案）

同じ悩みをもつ経営層又は克服経験のある経営層との交流

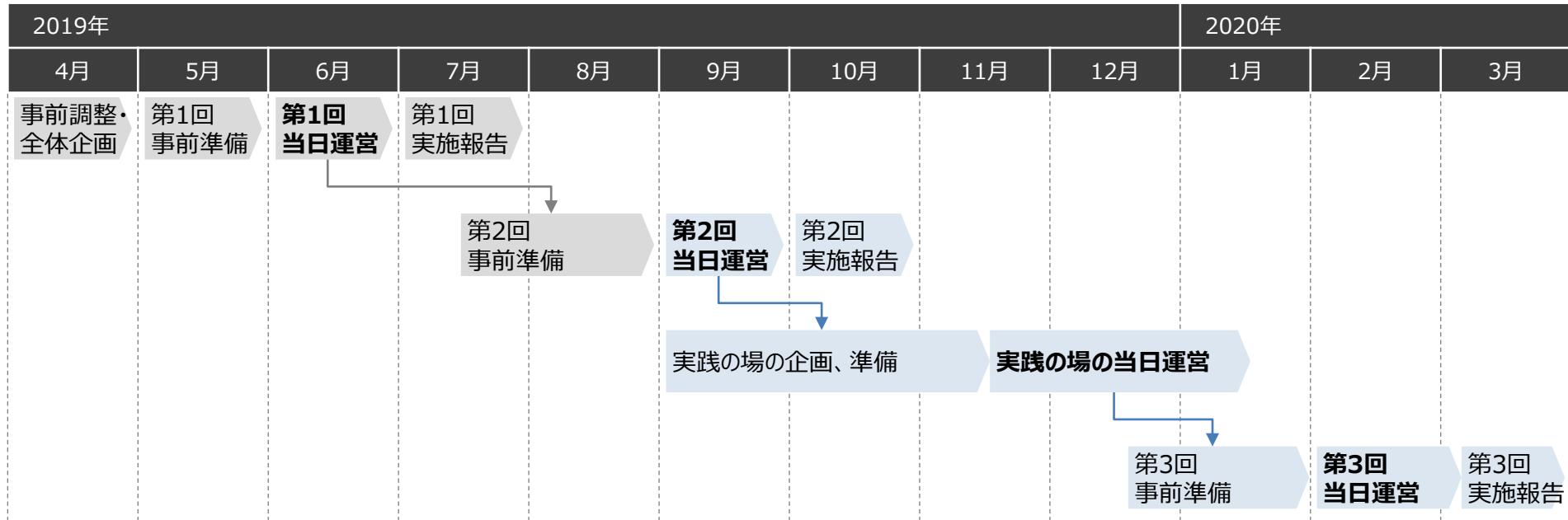
各経営層の状況に合った支援策・枠組みの紹介

既存の支援策・枠組みの隙間を埋める新たな支援の提供

支援側が連携して経営層に対して啓発

● 4. スケジュール

意見交換会および実践の場は、以下のスケジュールで推進予定でございます。



(凡例)

完了

未完了

參考資料

●宮城県意見交換会の検討事項

これまでに決定した事項

ありたい姿
官民連携による、
東松島市のSDGsの達成

議論のテーマ
東松島市の観光に携わる
団体の担い手不足解消

取組の方向性
東松島市の観光関連の
団体に対して、
市内外の団体 / 人材やIT
技術とのマッチングを支援

第2回意見交換会での検討事項

取組の詳細

「実践の場」の詳細

目的 (why)

- SDGs達成に向けた取組強化
- 観光関連の担い手不足解消

(開催目的=参加メリット)

支援対象 (who)

- 東松島市の観光に携わる団体

(参加者の具体的な属性など)

実施主体 (who)

- 市内外の団体／人材

・意見交換会参加団体 + 連携
対象団体 + 登壇者 (未定)

内容 (what)

- 担い手不足解消に資する、人
材や技術などのマッチング

(コンテンツ、伝える内容)

手法 (how)

- マッチングの「場」をつくる

(イベントの形式、その他手段)

場所 (where)

- 東松島市

(開催場所、会場名)

時期 (when)

(実施時期)

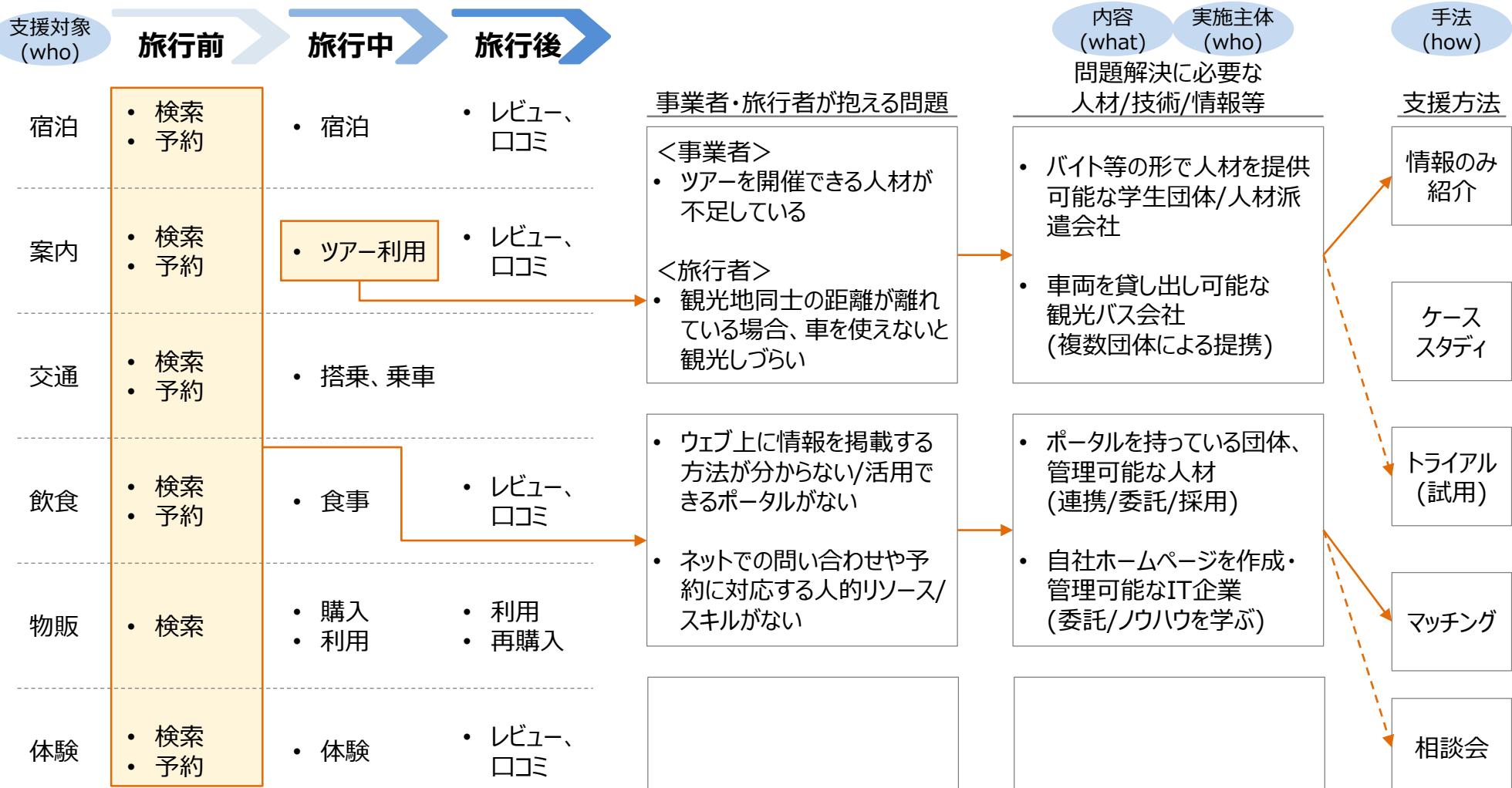
(開催日時)

※採用など「人」による対応だけでなく、技術や情報などの活用も含めた、人手不足解消の支援

※SDGsと本取組の関係性：取組自体がGoal #8,#12に関連し、また自然環境の保護・案内を担う団体も支援する意味でGoal #14,15にも間接的に貢献

● 宮城県意見交換会の検討事項 一 例：旅行者のアクションから考える

■ 旅行者来訪時のアクション（支援対象の分野別に整理）



● 福島県意見交換会の検討事項

これまでに決定した事項

議論のテーマ
福島県での暮らし方・働き方に関する理解促進（魅力付け）

取組の方向性

福島在住の若年層向けにより身近な・地道に活動している方を紹介する

第2回意見交換会での検討事項

取組の詳細

「実践の場」の詳細

目的 (why)

- 福島県での暮らし方・働き方に
関する理解促進

(開催目的＝参加メリット)

対象者 (who)

- 福島在住の若年層
(高校生～大学生)

(参加者の具体的な属性など)

実施主体 (who)

- 福島在住で、より身近な、地道
に活動されている方

・意見交換会参加団体+連携対象
団体+登壇者（未定）

内容 (what)

- 福島県内の暮らし方・働き方
の紹介

(コンテンツ、伝える内容)

手法 (how)

- 若年層に対して直接、暮らし方
・働き方を話して伝える

(イベントの形式、その他手段)

場所 (where)

- 福島県内

(開催場所、会場名)

時期 (when)

(実施時期)

(開催日時)

● 福島県意見交換会の検討事項 一 例：学生と社会のニーズから考える

